

# 令和7年産 美里地区の稲作情報

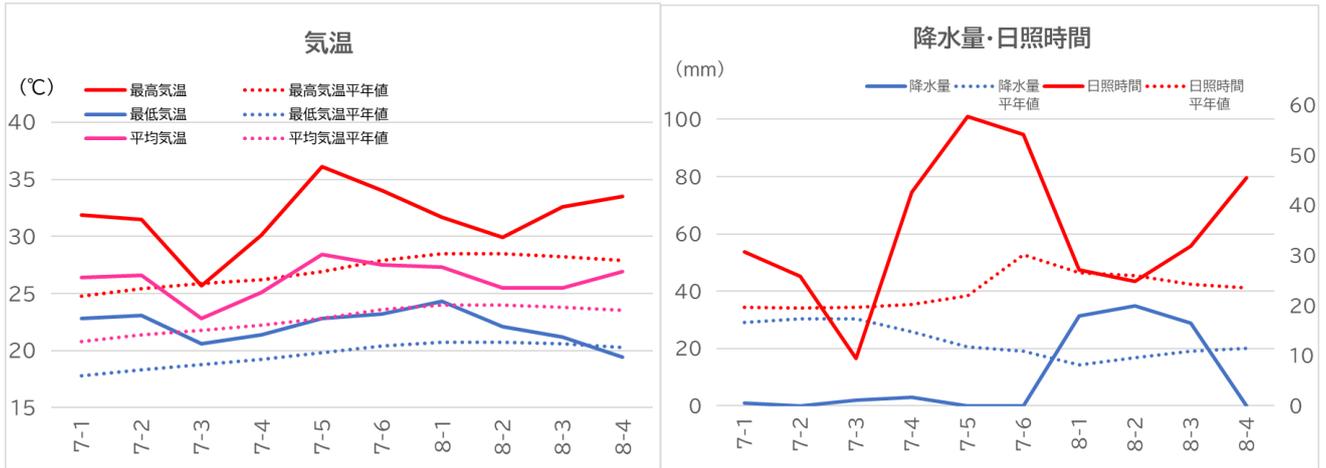
宮城県美里農業改良普及センター 第8号 令和7年8月22日発行

TEL:0229-32-3115

<https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



## 1. 気象経過(7月～8月第4半旬まで、アメダス鹿島台)



- ・7月以降高温で推移し、特に7月下旬は最高気温が高くなりました。7月の月平均気温は、令和5年を上回って史上最高となりました。8月も高温が続いています。
- ・7月の月合計降水量は6mm(平年比4%)と極端に少なくなりました。

## 2. 管内水稻の概況

表1 県生育ほひとめぼれの生育調査結果

調査地点	区分	田植(播種)日	出穂日	出穂後25日調査結果					
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	一穂粒数 (粒)	粒数 (百粒/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD値)
田尻 (桜田高野)	本年値	5月3日	7月26日	93.0	18.1	450.1	65.2	293.5	29.1
	前年値	5月4日	7月27日	93.1	18.4	491.4	73.8	362.5	25.3
	平年値	5月5日	7月30日	89.1	18.6	441.1	70.3	310.0	27.4
	前年比・差	-1	-1	100%	98%	92%	88%	81%	115%
	平年比・差	-2	-4	104%	97%	102%	93%	95%	106%

・生育ほひとめぼれでは、平年に比べ、稈長が長く、一穂粒数が少ない傾向です。7月～穂揃期までは葉色が平年より低く推移していましたが、出穂後25日ではやや上回っています。

・平年より4日早い7月26日に、出穂期となりました。

表2 管内の出穂状況

		始期 (5%出穂)	出穂期 (50%出穂)	穂揃期 (95%出穂)
管内	本年	7/25	7/29	8/5
	前年	7/24	7/28	8/5
	平年	7/26	7/31	8/8
県全体	本年	7/25	7/30	未
	前年	7/24	7/29	8/5
	平年	7/27	8/1	8/8

※管内および県全体の平年値は過去5か年の平均値。

・高温で生育が早まり、出穂期は平年より2日早い7月29日となりました。

県全体の出穂期も、平年より2日早い7月30日となっています。

### 3. 刈り取り適期について

・積算平均気温から算出した刈り取り適期予測では、平年より適期が早まり、特に出穂が早いほ場では、適期が短くなっています(表3)。

・刈り取り時期が遅くなると白未熟粒、ついで胴割粒や茶米が増加し、品質が低下します。

・成熟期後も刈り取りまで稲体は生きています。高温時の早期落水は品質低下を助長しますので、出穂後30日～刈り取り10日前を目安に落水しましょう(図1)。

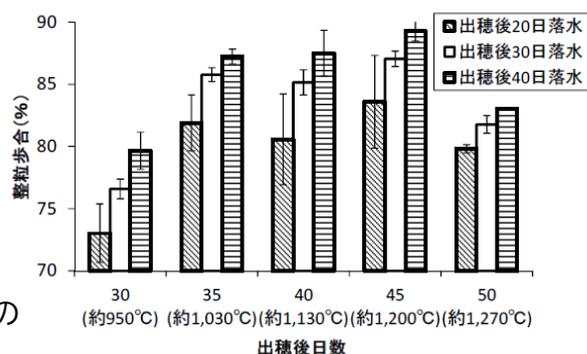


図1 落水時期別の整粒歩合  
(出典:普及に移す技術第91号)

表3 品種別刈り取り適期の予測

品 種	目安となる 積算気温	出穂期				
		7/25	7/29	8/1	8/5	8/9
ひとめぼれ まなむすめ	940°C(早限)	8/30	9/4	9/7	9/12	9/17
	1,000°C	9/2	9/6	9/10	9/15	9/20
	1,100°C(晩限)	9/5	9/10	9/14	9/19	9/24
ササニシキ	930°C(早限)	8/30	9/3	9/7	9/12	9/16
	1,000°C	9/2	9/6	9/10	9/15	9/20
	1,150°C(晩限)	9/7	9/12	9/13	9/21	9/27
つや姫	1,000°C(早限)	9/2	9/6	9/10	9/15	9/20
	1,100°C	9/6	9/11	9/14	9/20	9/25
	1,200°C(晩限)	9/9	9/14	9/18	9/24	9/30

※鹿島台アメダスの平均気温(8月20日までは実測値、8月21日～9月19日までは気象庁の1か月予報による予測値、9月20日以降は平年値)から予測。

～5月から9月までは熱中症対策強化期間です～  
こまめな休憩、水分補給！！



～収穫適期について～

・籾の90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から1/3程度黄変したときが刈取適期です(図2)。

・コンバイン収穫作業では、収穫時の籾水分が高すぎると、胴割粒の増加などの、品質低下の原因となります。  
(特に倒伏、未熟粒が多い場合は注意)  
籾水分25%以下を目安に収穫しましょう。

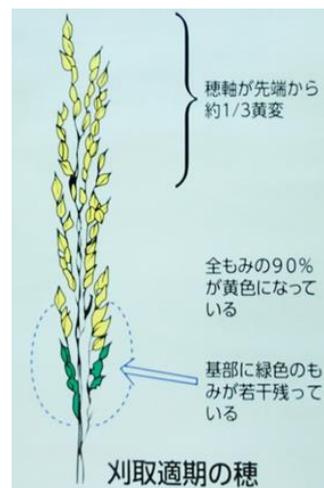


図2 刈り取り適期の穂のイメージ図

～刈り取りの注意点～

- ・倒伏した稲や水口など成熟期の遅れた稲は、収穫時期や籾袋を別にして乾燥しましょう。
- ・クサネムやツククサの種子は揺動式比重選や粒径選でも取り除きにくいので、収穫作業前に必ず抜き取りましょう。
- ・鉄コーティング直播、紋枯病が発生しているほ場では倒伏しやすいので、適期に達したら早めに刈り取りましょう。特に今年は、出穂前的高温により稈長が伸びており、倒伏しやすい状態です。

～乾燥・調製の注意点～

・刈り取り後はすみやかに乾燥機に張り込み、送風循環しましょう。

・高水分籾を機械乾燥する場合は、品質低下を抑えるため二段乾燥を行いましょう(図3)。

・仕上がりの玄米水分は14.5%～15.0%が目標です。

・籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。ロール式籾摺機の場合は、籾(品種)に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。

・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底してください。

◎収穫時の籾水分(平均23%)

乾燥開始	17:00
乾燥機一時休止	22:00
籾水分	約19%
乾減率	0.8%/h
乾燥機一時休止 22:00～翌朝 7:00	
乾燥再開	7:00
乾燥終了	11:00
玄米水分	15.5%
一時貯留槽に排出 11:00～	

図3 二段乾燥の一例(山形農試)

～9月1日から11月30日は秋の農作業安全確認運動期間です～  
忙しくても安全を一番に！

